

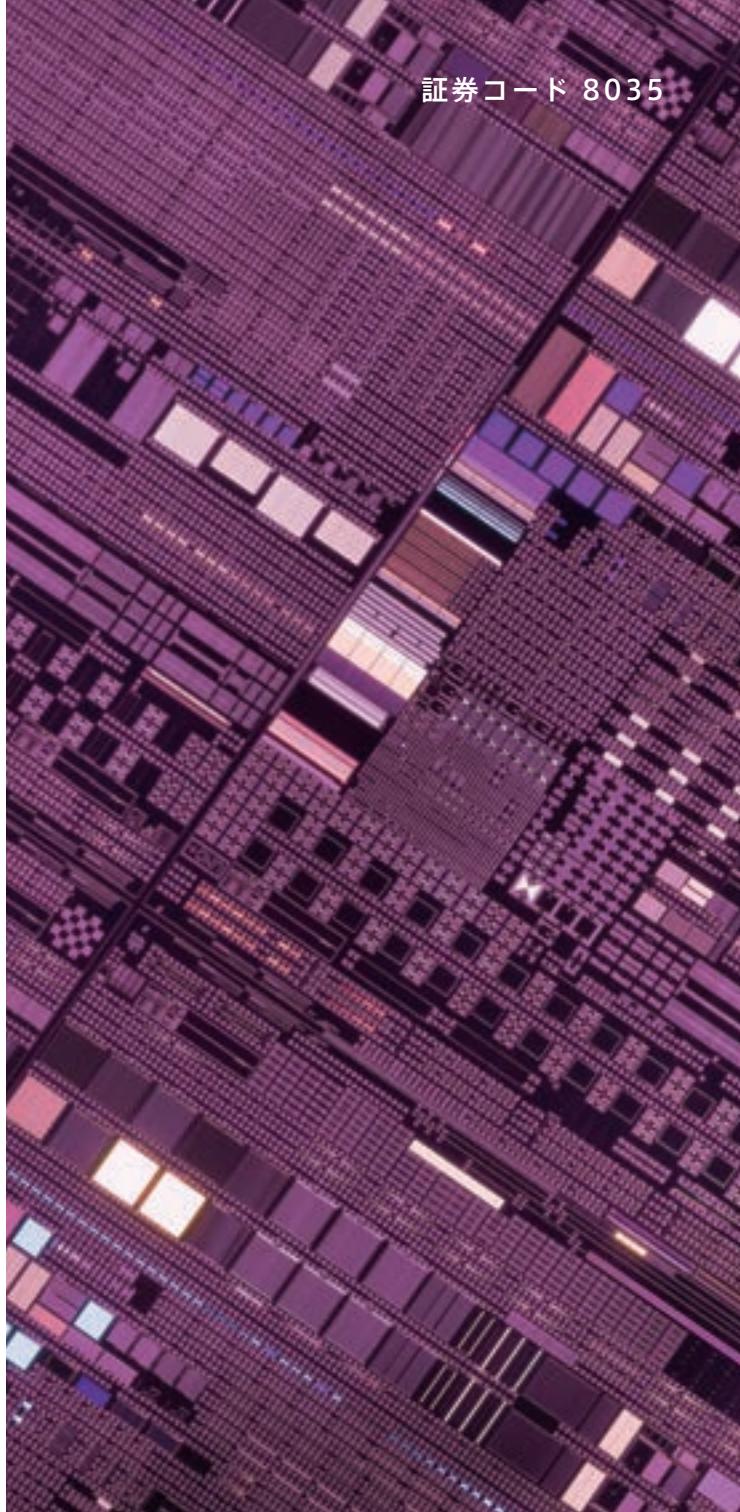


証券コード 8035

第56期  
中間報告書

2018年4月1日から  
2018年9月30日まで

東京エレクトロン株式会社



## 株主の皆さまへ



代表取締役社長・CEO

河合 利樹

### 目次

株主の皆さまへ	1
事業の概況	2
主要な事業内容及びセグメント別の概況	3
特集① 2019年3月期 中間期トピックス	5
特集② 当社グループ事業拠点のご紹介 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ㈱	7
連結財務諸表	9
株式の状況	11
会社の概況等	12
株主メモ	13

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第56期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）報告書として、事業の概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

第56期中間期の連結業績は、引き続き高い水準で推移し、売上高、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜物と感謝しております。

人工知能（AI）や次世代通信規格などの新技術の拡がりを背景に、半導体の需要はますます高まることが予想され、半導体製造装置市場は技術革新とともに中長期的にさらなる成長が見込まれます。今後も『革新的な技術力と、多様なテクノロジーを融合する独創的な提案力で、半導体産業とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー』というビジョンのもと、チャレンジ精神をもって、当社グループの持続的な企業価値の向上に全社一丸となって努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2018年11月

## 事業の概況

当中間期につきましては、米国経済は引き続き好調であり、また、アジアや欧州経済は緩やかな回復を続けるなど、世界経済全体につきましては、概ね堅調に推移しました。

当社グループの参画しておりますエレクトロニクス産業におきましては、半導体メモリの価格調整がみられたものの、データセンター向け半導体の需要は引き続き活発であり、半導体・電子部品の市況は堅調に推移しました。

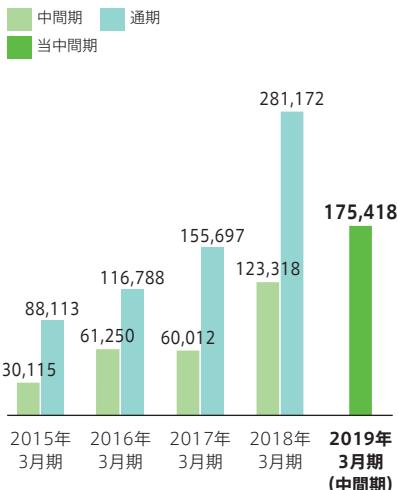
このような状況のもと、当社グループの当中間期の連結業績は、売上高6,910億3千4百万円（前年同期比33.7%増）、営業利益1,754億1千8百万円（前年同期比42.2%増）、経常利益1,812億4千7百万円（前年同期比47.3%増）、また、親会社株主に帰属する当期純利益は1,352億9千4百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

### 連結業績推移

#### 売上高



#### 営業利益



#### 親会社株主に帰属する当期純利益



# 主要な事業内容及びセグメント別の概況

当社グループは、エレクトロニクス技術を利用した半導体製造装置及びFPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置の開発・製造・販売・保守サービスを事業の中心としております。

## 半導体製造装置

### ■ 事業の状況

DRAM、3次元構造のNANDフラッシュメモリ、ロジック系半導体向けの設備投資においてモバイル向けに加え、旺盛なデータセンター向け需要を背景に半導体メーカーの設備投資は継続的に行われ、半導体製造装置市場は好調に推移しました。このような状況のもと、当セグメントの当中間期の外部顧客に対する売上高は、6,384億5千7百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

### ■ 主要営業品目

- コータ／デベロッパ
- エッチング装置
- 成膜装置
- 洗浄装置
- ウェーハプローバ

コータ／デベロッパ  
CLEAN TRACK™ LITHIUS Pro™ Z



プラズマエッチング装置  
Tactras™



ALD\*装置  
NT333™



枚葉CVD\*\*装置  
Triase+™



枚葉洗浄装置  
CELLESTA™-i



ウェーハプローバ  
Precio™ XL



\* ALD : Atomic Layer Deposition (原子層堆積)  
\*\* CVD : Chemical Vapor Deposition (化学気相成長)

## FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置

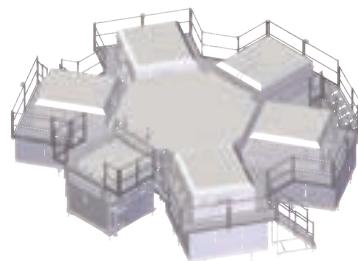
### ■ 事業の状況

中国においてテレビ用大型液晶パネル向けの需要が活発化したことによる設備投資の増加に加え、スマートフォン用中小型有機ELパネル向けの設備投資も継続し、FPD製造装置市場は好調に推移しました。このような状況のもと、当セグメントの当中間期の外部顧客に対する売上高は、524億6千8百万円（前年同期比80.8%増）となりました。

### ■ 主要営業品目

- FPDエッチング／アッシング装置
- FPDコータ／デベロッパ

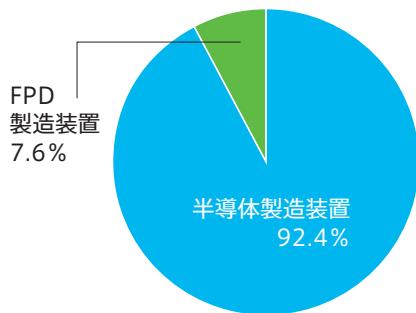
FPDプラズマエッチング／アッシング装置  
Betelex™



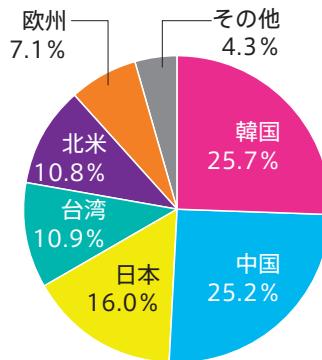
### その他

上記2セグメントに含まれない事業における当中間期の外部顧客に対する売上高は、1億8百万円となりました。

### 連結 セグメント別売上構成比（当中間期）



### 連結 地域別売上構成比（当中間期）



## 特集① 2019年3月期 中間期トピックス

### さらなる成長に向けた積極投資を実施

IoT/ビッグデータ時代の到来により、半導体は大量で多様、さらなる高度化が必要とされ、半導体産業は、今後大きな成長が見込まれます。

将来的な事業拡大に備え、工場用地を取得する他、新棟の建設により、市場を先取りした技術開発で製品競争力のさらなる強化を図るとともに、お客さまのニーズに迅速に応え、中長期の持続的成長を目指します。

東京エレクトロン宮城(株)  
工場用地取得

所在地：宮城県黒川郡大和町小野岩倉付近  
(大和リサーチパーク北側)

面積：約111,000m<sup>2</sup>

取得時期：2021年3月(予定)

用途：エッチング装置の開発・製造



東京エレクトロン  
テクノロジーソリューションズ(株)  
新棟建設

所在地：岩手県奥州市江刺  
岩谷堂字松長根52

延床面積：31,777m<sup>2</sup>

着工：2018年10月

竣工：2019年9月(1期工事完了予定-生産棟の一部)、2020年12月(2期工事完了予定)

用途：熱処理成膜装置の製造



東京エレクトロン  
テクノロジーソリューションズ(株)  
新棟建設

所在地：山梨県韮崎市藤井町  
北下条2381-1

延床面積：32,455m<sup>2</sup>

着工：2019年1月(予定)

竣工：2020年4月(予定)

用途：枚葉成膜装置、ガスケミカルエッチング装置、テストシステムの製造



## 新製品リリース

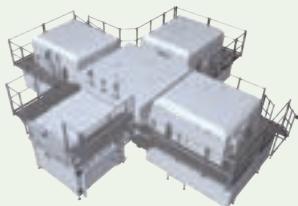
### 枚葉成膜装置 Triase<sup>+</sup>™ EX-II Pro™

さらなる微細化、多層化が進んだ先端デバイスの技術ニーズに応えるために開発された装置です。



URL: [www.tel.co.jp/news/topics/2018/20180705\\_001.html](http://www.tel.co.jp/news/topics/2018/20180705_001.html)

### 高精細フラットパネルディスプレイ向け 第10.5世代ドライエッチング装置 Impressio™ 3300 PICP™



高密度プラズマ源PICP™を搭載し、新たに第10.5世代(2,940mm×3,370mm)基板に対応するために開発された装置です。

URL: [www.tel.co.jp/news/topics/2018/20181016\\_001.html](http://www.tel.co.jp/news/topics/2018/20181016_001.html)

### 有機ELディスプレイ製造用 インクジェット描画装置 Elius™ 1000

高解像有機ELディスプレイ向けに、新たに第4.5世代(最大730mm×920mm)基板に対応するために開発された装置です。



URL: [www.tel.co.jp/news/topics/2018/20181016\\_002.html](http://www.tel.co.jp/news/topics/2018/20181016_002.html)

## 外部からの評価

### ESGへの取り組み

当社は、ESGの各分野において、積極的に活動を行っています。

当社のESGは、中長期的な企業価値向上の取り組みとして評価を受け、世界の代表的なCSR・ESG投資における株価指数の構成銘柄に選定されています。



### TOP 100 GLOBAL TECHNOLOGY LEADERS

当社は、トムソン・ロイター社より「TOP 100 グローバル・テクノロジー・リーダー」に選ばれました。

トムソン・ロイター社が、私たちが未来へと導く世界で最も優れたテクノロジー企業として世界5,000社のテクノロジー企業を選定し、その中でもより優れているトップ100社を選出しています。日本からは当社を含む13社が受賞しました。



## 特集② 当社グループ事業拠点のご紹介ー東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)ー

当社主力装置の製造拠点である東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)をご紹介します。

同社が本社を構える山梨県は、合併会社からスタートした当社工場の発祥の地です。これまでに幾度かの業態の変遷を経て、2017年に山梨、東北の両工場を合併し、東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)として、さらなる製品競争力の強化、生産性の向上に取り組んでいます。



### 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)

#### 会社概要

本 社 所 在 地：山梨県韮崎市藤井町北下条2381-1

代表取締役社長：佐々木 貞夫

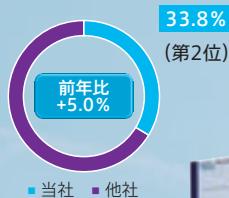
主 要 事 業 所：山梨事業所(藤井・穂坂)、東北事業所(江刺)

主 要 事 業：熱処理成膜装置、枚葉成膜装置、  
ガスケミカルエッチング装置、テストシステム、  
FPDプラズマエッチング/アッシング装置の  
開発・製造

資 本 金：40億円

従 業 員：2,296名(2018年10月1日現在)

枚葉CVD装置市場シェア  
(2017年暦年)

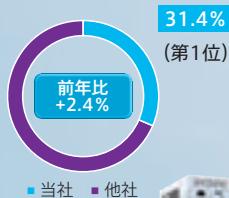


■ 当社 ■ 他社

枚葉CVD装置  
Triase+™



ALD装置市場シェア  
(2017年暦年)



■ 当社 ■ 他社

ALD装置  
NT333™



FPDプラズマエッチング装置  
市場シェア (2018年3月期)



■ 当社 ■ 他社

FPDプラズマ  
エッチング  
/アッシング装置  
Betelex™



出所 (枚葉CVD装置市場シェア: Nontube LPCVD, ALD装置市場シェア: Atomic layer deposition Tools) : Gartner, "Market Share: Semiconductor Wafer Fab Equipment, Worldwide, 2017", 18 April 2018, 図はガートナーリサーチに基づき、当社が作成。  
出所 (FPDプラズマエッチング装置市場シェア) : 当社推定



山梨事業所



東北事業所



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	第56期中間期 (2018年9月30日現在)	第55期 (2018年3月31日現在)	増減
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>				
現金及び預金		965,990	946,597	19,393
受取手形及び売掛金		90,786	87,377	
有価証券		155,384	159,570	
商品及び製品		333,000	286,500	
仕掛品		226,711	220,497	
原材料及び貯蔵品		62,373	75,504	
その他		55,010	48,069	
貸倒引当金		42,813	69,137	
		△87	△59	
<b>固定資産</b>				
<b>有形固定資産</b>				
<b>無形固定資産</b>				
<b>投資その他の資産</b>				
その他		115,489	114,364	1,124
貸倒引当金		116,936	115,786	
		△1,447	△1,422	
<b>資産合計</b>		<b>1,238,513</b>	<b>1,202,796</b>	<b>35,716</b>

科目	期別	第56期中間期 (2018年9月30日現在)	第55期 (2018年3月31日現在)	増減
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>				
支払手形及び買掛金		325,063	368,452	△43,389
未払法人税等		82,885	108,607	
前受金		46,348	66,046	
賞与引当金		98,134	100,208	
製品保証引当金		34,312	34,467	
その他の引当金		14,357	11,284	
その他		2,619	4,618	
		46,404	43,218	
<b>固定負債</b>				
その他の引当金		981	374	
退職給付に係る負債		59,821	59,309	
その他		3,052	3,150	
<b>負債合計</b>		<b>388,918</b>	<b>431,287</b>	<b>△42,369</b>
<b>純資産の部</b>				
<b>株主資本</b>				
資本金		824,620	750,843	73,776
資本剰余金		54,961	54,961	
利益剰余金		78,011	78,011	
自己株式		703,704	625,390	
		△12,055	△7,518	
<b>その他の包括利益累計額</b>				
その他有価証券評価差額金		17,423	16,302	1,121
繰延ヘッジ損益		13,481	17,134	
為替換算調整勘定		△182	278	
退職給付に係る調整累計額		9,744	5,507	
		△5,619	△6,618	
<b>新株予約権</b>		<b>7,550</b>	<b>4,363</b>	<b>3,187</b>
<b>純資産合計</b>		<b>849,595</b>	<b>771,509</b>	<b>78,085</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>1,238,513</b>	<b>1,202,796</b>	<b>35,716</b>

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、第55期の実績についても当該会計基準等を遡って適用しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	第56期 中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	第55期 中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	増減
<b>売上高</b>		<b>691,034</b>	<b>516,976</b>	<b>174,058</b>
売上原価		406,925	301,561	
<b>売上総利益</b>		<b>284,109</b>	<b>215,415</b>	<b>68,694</b>
販売費及び一般管理費		108,691	92,097	
<b>営業利益</b>		<b>175,418</b>	<b>123,318</b>	<b>52,100</b>
<b>営業外収益</b>		<b>5,938</b>	<b>1,663</b>	<b>4,274</b>
受取配当金		1,744	282	
為替差益		1,885	—	
その他		2,308	1,380	
<b>営業外費用</b>		<b>109</b>	<b>1,915</b>	<b>△1,806</b>
閉鎖拠点維持管理費用		33	38	
為替差損		—	1,769	
その他		75	107	
<b>経常利益</b>		<b>181,247</b>	<b>123,066</b>	<b>58,181</b>
<b>特別利益</b>		<b>2</b>	<b>73</b>	<b>△71</b>
固定資産売却益		2	73	
<b>特別損失</b>		<b>146</b>	<b>829</b>	<b>△682</b>
固定資産除売却損		146	292	
投資有価証券評価損		—	536	
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>181,103</b>	<b>122,311</b>	<b>58,792</b>
法人税等		45,808	31,615	
<b>当期純利益</b>		<b>135,294</b>	<b>90,695</b>	<b>44,599</b>
非支配株主に帰属する当期純利益		—	27	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>135,294</b>	<b>90,668</b>	<b>44,626</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

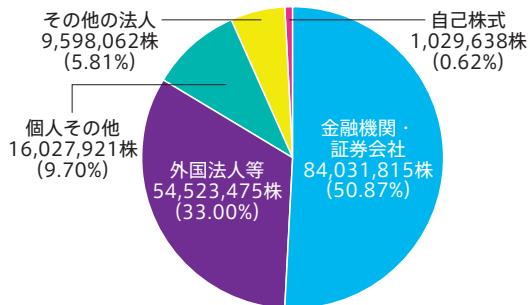
# 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株

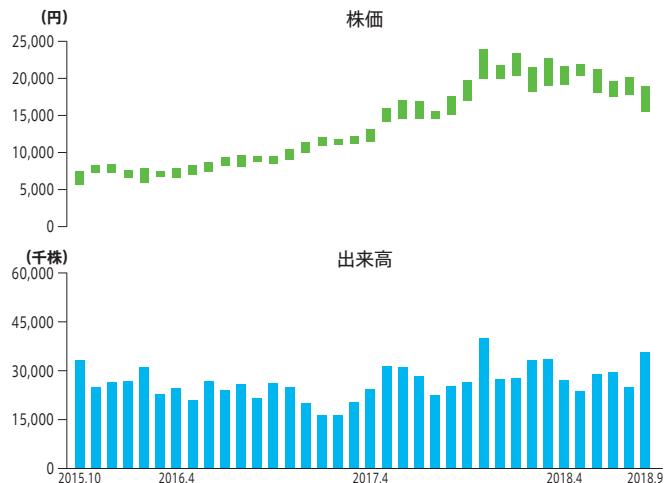
発行済株式の総数 165,210,911株

株主数 50,340名

## 所有者別株式分布状況



## 株価と出来高 (2015年10月～2018年9月)

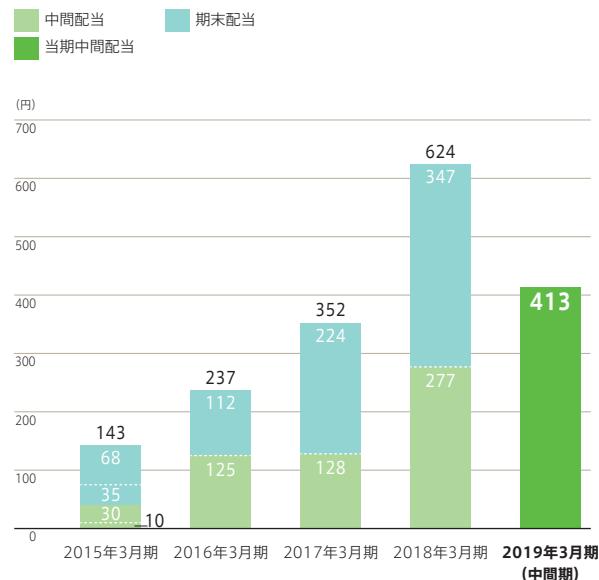


## 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	29,050	17.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	16,852	10.26
株式会社東京放送ホールディングス	7,727	4.70
ジェーピーモルガンチェースバンク 380055	6,633	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	3,137	1.91
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	3,022	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	2,599	1.58
ステートストリートバンクウェストクラリアントリー-505234	2,587	1.57
ジェーピーモルガンチェースバンク 385151	2,278	1.38
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,264	1.37

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、自己株式(1,029,638株)を控除して算出して表示しております。また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 3. 2017年9月25日付で野村證券株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、ノムラインターナショナル・ピーエルシー及びその共同保有者である他1社が2017年9月15日現在、13,686千株所有している旨、2017年7月21日付で三井住友信託銀行株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、同社及びその共同保有者である他2社が2017年7月14日現在、13,588千株所有している旨、2017年6月19日付で株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループから公衆の縦覧に供されている変更報告書において、株式会社三菱東京UFJ銀行(現 株式会社三菱UFJ銀行)及びその共同保有者である他3社が2017年6月12日現在、12,214千株所有している旨、2016年2月4日付でブラックロック・ジャパン株式会社から公衆の縦覧に供されている変更報告書において、同社及びその共同保有者である他6社が2016年1月29日現在、10,252千株所有している旨、2018年3月23日付でアセットマネジメントOne株式会社から公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、同社が2018年3月15日現在、8,735千株所有している旨が記載されておりますが、当社として2018年9月30日現在の実質保有状況の確認ができない部分については、上記表に含めておりません。

## 配当金の推移



- (注) 1. 2016年3月期から配当性向を見直し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目処としております。  
 2. 2015年3月期は四半期配当を実施しております。

## 会社の概況等

### 会社の概況 (2018年9月30日現在)

商号	東京エレクトロン株式会社 TOKYO ELECTRON LIMITED
設立	1963年11月11日
資本金	54,961,191,468円
本社	東京都港区赤坂五丁目3番1号
主要な事業所	
府中テクノロジーセンター	東京都府中市住吉町二丁目30番地の7
大阪支社	大阪府大阪市淀川区宮原三丁目4番30号
山梨事業所 (藤井地区)	山梨県韮崎市藤井町北下条2381番地の1
(穂坂地区)	山梨県韮崎市穂坂町三ッ沢650番地
札幌事業所	北海道札幌市中央区南一条東一丁目5番
九州営業所	熊本県合志市福原1番地1

### 取締役・監査役 (2018年9月30日現在)

代表取締役会長	常石 哲男
代表取締役社長	河合 利樹
取締役	北山 博文
取締役	飽本 正巳
取締役	堀 哲朗
取締役	佐々木 貞夫
取締役	長久保 達也
取締役	春原 清
取締役相談役	東 哲郎
取締役(社外)	井上 弘
取締役(社外)	チャールズ・ デイトマース・ レイク二世
取締役(社外)	佐々木 道夫
常勤監査役	原田 芳輝
常勤監査役	布川 好一
監査役(社外)	山本 高稔
監査役(社外)	酒井 竜児
監査役(社外)	和貝 享介

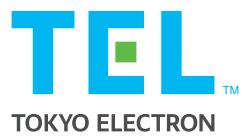
## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	事業年度終了後3ヵ月以内
基準日	定時株主総会については、毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
配当支払株主確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元未満株式の 買取請求取扱	お取引証券会社等 (特別口座で管理されている場合は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社)
公告方法	電子公告 (電子公告アドレス ( <a href="http://www.tel.co.jp/ir/stocks/koukoku/">http://www.tel.co.jp/ir/stocks/koukoku/</a> )) ただし、電子公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 8035)

### 配当金のお支払いについて

第56期中間配当金は、同封の「配当金領収証」により、2018年11月26日から2019年1月11日までの間に、最寄りのゆうちょ銀行等でお受け取りください。金融機関預金口座振込・ゆうちょ銀行貯金口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「お振込先について」のとおり、また、証券会社等の口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」のとおり振込手続きをいたしましたので、ご確認ください。





当社は、見やすさ、読みやすさを考慮し、AXIS書体を採用しています。